

日本における金融包摂（ファイナンシャル・インクルージョン）の確立に向けて
海外事例調査報告と日本における取組の紹介

自立のための生活経済教育の実践例
紹介

一般社団法人 自立のための生活経済教育推進協議会 代表理事
金銭教育総合研究所マネージメント代表 ファイナンシャルエデュケーター 陣内恭子

団体のライフストーリー

西暦	団体の変遷	活動内容
1997年-	代表 陣内 ファイナンシャルプランナー（FP）の資格取得し、事業スタート	FPの養成と家計管理のアドバイス業務の中で、子どもの時期からのお金の教育の必要性を強く感じる。 社会問題として、ニート、フリーター、金銭トラブルの事件が増えていることから、危機感↑
2002年	「母と子どものマネーじゅく」を福岡でスタート （小学生と保護者で塾をつくり、新聞、インターネットで情報発信）	子どもが楽しみながら学ぶ教材として「こづかいゲーム」を開発。 保護者の変容の必要性を感じ、ワークショッププログラムとして親子講座を開発
2004年	「マネーじゅく」としてFP中心で、子どもへのお金の教育に関心を持つ仲間と団体をつくり全国で活動	小学生の親子を対象に、「こづかいゲーム」プログラムで、こづかいを教材化した金銭管理教育の家庭教育の方法を広げる
2006年 2008年	全国の活動のなかで、広範囲の対象者向け教材開発要請がある 「金銭教育総合研究所マネーじゅく」学校教育にもしっかり対応	こづかい管理、買い物体験講座だけではなく、幼児の道徳教育、小学生高学年からの経済教育、金融経済教育、自立のための家計管理講座、大人のための家計管理講座などを開発
2015年	現在行っていることをそのまま法人名にして、一般社団法人自立のための生活経済教育推進協議会設立	法人化の理由：マネーじゅくのネーミングが「子ども」を連想させ、活動と合わなくなっていること、活動の世代交代を視野に入れ、希望者で法人を立ち上げる

自立のための生活経済教育推進協議会の目指すところ

収益をあげながら社会的課題の解決が継続できる事業を行う

■ 困窮者・特性を持つ方たち向けの活動

- 低所得の人たちの不安を減らし、浪費の軽減ができる講座開発
 - ⇒ (仮)やりくり家計管理講座※ 対象:就労支援事業所利用者
 - ⇒ (これから開発)
- 支援者の仕事づくりで収入アップと、家計管理の学習の場づくり
 - ⇒ お金の教育ができる支援者の養成
 - 支援者に、仕事をしながら金融、家計管理の知識が得られる教材(仮)やりくり家計管理講座※開発中
 - △ FPなど金融の知識のある人に福祉の場に入ってもらう
 - △の理由:
- ピアサポート事業（起業、副業づくりの応援）
 - ⇒ 就職はできないが力がある人の起業応援（東京・福岡）
 - ⇒ 週末の副業で収入を上げ、困窮状態を抜け出させる

金銭教育 → (自立のための) 生活経済教育

お 金

金 融

投 資

稼 ぐ

実践

壁

これらのコトバが
保護者、教師に
受け入れてもらえない

- お金は、使い方次第で幸せにも不幸にもなる道具と思え
- 生まれた時から、お金を融通する経済社会の中にいる
現実に目を向けよう
- 株や不動産の投資より先に、自分自身に ‘お金’ と ‘時間’
を使う自己投資から考えさせてみては？
- 何を稼ぐのか？ お金を稼ぐが嫌で使いたくない言葉なら、
「仕事を稼ぐ」を教えよう

活動とコトバの壁

① 親子との最初の接点

金銭教育 「親子こづかい体験教室」・・・子どもに無駄遣いをさせたくない親が小学生の子どもと参加

金銭教育講話 ・ セミナー ・ 大人のためのワークショップ

② 親向けアンケート 「次は何を体験させたいですか？」

× 金融教育 × 金融経済教育 「自立のための」
○ 経済教育 生活経済教育

■ 2015年 夏の親向けアンケート

保護者が、「稼ぐ」「仕事」「自立」を家庭で実際に話をし始めるのはいつだろうか？と思いつき

確認できた人
自営業

「稼ぐことを教えたいですか？」・・・ほとんど挙手なし（会場で1～2人程度）

「自立させたいですか？」・・・ほとんど全員、元気よく挙手

▶ 以上は母親 父親への質問はできていない

(仮)やりくり家計管理講座 カレンダーを使ったカードゲーム

自立のための生活経済教育 ワークショップ
就労支援事業所バージョン 家計管理シミュレーション 基礎

実践時のテーマ例

「働いて得た収入の中でのお金の使い方を体験」
～自信をつけよう！模擬体験で家計管理の不安は軽くなる！～

活動 ～ 就労支援事業所の場合

① 事業所からのご依頼

- ・事業所全体ででき、
当事者が全員参加できる内容がよい
- ・支援者も楽しく、共に学べるものにしてほしい
- ・当事者の日常にすぐに役立つ内容がよい
- ・日常の支援業務に使えるものが好ましい
- ・時間は半日でも1日でも確保できる
- ・今後のお金の教育の相談に乗ってほしい

●当事者
精神疾患・発達障害
身体障害・難病

●支援者(支援員)
独身・親と同居中

●支援者(支援員)
既婚・家計管理体験なし

② 教材作り

- ・当事者のための家計管理シミュレーションゲーム
- ・当事者の課題を見つけ、行動の修正に使えるもの

+ 当事者だけでなく、(時間のない)支援者も学べるもの

教材

9月

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

カレンダー
大・小

普通預金 【 様】

日付	お支払金額	お預り金額	差引残高
〇月〇日	書き方見本	*10,000	*10,000
月〇日	*4,000		*6,000

銀行か

預金口座

ほしい
買った日: 月 日

商品名・サービス名
金額

自分で書く
ほしいもの・
必要なもの



カード
お金券

現金出納帳

日付	内容	収入	支出	残高	預金残
1	くりこし				
2		(+)	(-)		
3		(+)	(-)		
4		(+)	(-)		
5		(+)	(-)		
6		(+)	(-)		
7		(+)	(-)		
8		(+)	(-)		
9		(+)	(-)		
10		(+)	(-)		
11		(+)	(-)		
12		(+)	(-)		
13		(+)	(-)		
14		(+)	(-)		
15		(+)	(-)		
16		(+)	(-)		
17		(+)	(-)		
18		(+)	(-)		
19		(+)	(-)		
20		(+)	(-)		

現金出納帳

10月

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1	2	3
4						10
17						17
18						24
25	26	27	28	29	30	31

書く、計算が
苦手な方用
カレンダー日記帳

昼食メニュー どれかを選びます 「食べない0円」もOK

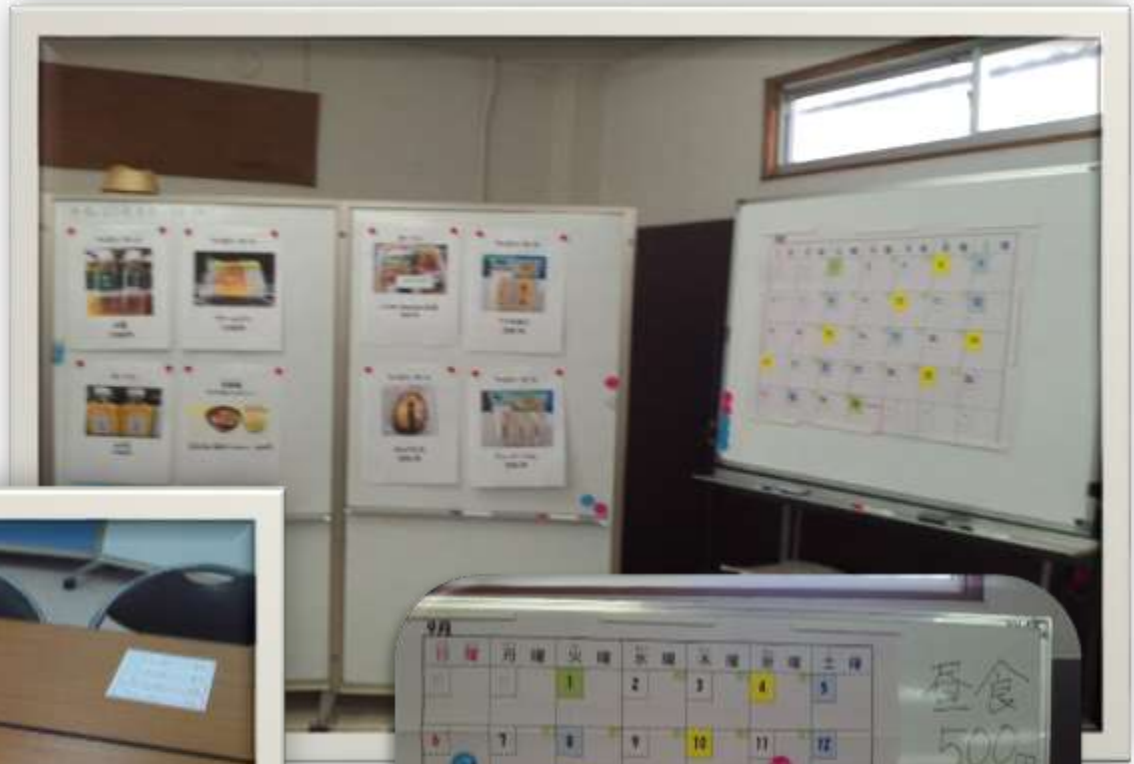
	豪華な弁当 1,000円		カレーセット 800円
	野菜たっぷり		パンセット 0円
	カップラーメンとごはん 400円		パンセット 400円
	ジュースとポテト 300円		自分で作った弁当 0円

食教育用
昼食
メニュー

<親子で学べるマネー塾>

NPOワークショップアントレ (2015.8.19)

内容	収入	支出	残高	備考
収入				
お金のこづかい	20000		20000	
お金のこづかい		5000	15000	
お金のこづかい		10000	5000	
お金のこづかい		2000	3000	
お金のこづかい		1000	2000	
お金のこづかい		1000	1000	
お金のこづかい		1000	0	
お金のこづかい		1000	-1000	
お金のこづかい		1000	-2000	
お金のこづかい		1000	-3000	
お金のこづかい		1000	-4000	
お金のこづかい		1000	-5000	
お金のこづかい		1000	-6000	
お金のこづかい		1000	-7000	
お金のこづかい		1000	-8000	
お金のこづかい		1000	-9000	
お金のこづかい		1000	-10000	



9月

日	月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29	30				

昼食
500円
× 20日
10000円

(仮)やりくり家計管理講座 カレンダーを使ったカードゲーム

簡単なゲームルール説明 (概要)

ゲームルール説明と準備30分 1か月目30分

休憩をはさみ2か月目30分 のこり時間でまとめ

その後、支援員と情報交換

- ・1組4~5名の当事者と1~2名の支援者で構成したグループワーク
- ・カレンダーを用い、日常で起こりそうなことをカードゲームで体験
- ・サイコロの目で日(時間)が進み、全員、同じ種類のカードを引く
- ・カードは3種類(買い物・ハッピー・アクシデント)
- ・自分のほしいもの、必要なものを書き出し、ゲーム中に購入
- ・給料は銀行口座に入金された状態で受け取り、出金からスタート
- ・事業所での食事代等前払いを現金(お金券)で支払い、カードで出る文言で買い物の支出、ほか収入、支出、0円の体験をする
- ・前半1か月目は、カードゲームで金銭管理体験(記帳なし)
ゲームルールの説明を聞きながら、全グループ一緒に進行
- ・後半2か月目は、現金出納帳の記帳をしながらカードゲーム
1か月目と同じルールで、各グループで進行

当事者（事業所利用者）の声

- ・いつもやらないことができてよかった
- ・たのしかった
- ・グループの人とコミュニケーションが取れた
- ・はじめて現金出納帳を書けてよかった
- ・これから無駄遣いをしないようにしたいと思う
- ・貯金がしたくなった

支援者の声

- ・カレンダーを記帳で使えるのがよい（現金出納が書けない人向け）
- ・0円表示で日記のように書くことが行動の傾向をつかむのによいと思う
- ・カードが日常にあるようなことでよい
- ・普通預金口座からの出金体験がよい
- ・医療費がかかることや悪徳商法などの対処法が入っているのでよい
- ・金額の想定が自由なのがよい
- ・社会人経験者と学校卒業者、学校在籍中と一緒にできるのがよかった
- ・グループワークとして楽しくできるのがよい
- ・参加者がコミュニケーションをとり参加していて驚いた
- ・いつもは見えない意外な一面がいろいろ出てきて驚いた
- ・記録ができれば、通所の時間だけではつかめない興味や関心ごと、外での能力や身につけているスキルなどが見え、変化が測れると思った
- ・自分の学びになった・・・後から個別に言われることが多い

次の展開 – ゲーム教材を使ったアセスメントツールづくり

	1	2	3	4	5
反応	反応	反応	反応	反応	反応
質問	質問	質問	質問	質問	質問
カード	カード	カード	カード	カード	カード
反応	反応	反応	反応	反応	反応
質問	質問	質問	質問	質問	質問
カード	カード	カード	カード	カード	カード
反応	反応	反応	反応	反応	反応
質問	質問	質問	質問	質問	質問
カード	カード	カード	カード	カード	カード

課題 ① – 各事業所の支援員向け金融教育が必要
→ **難しい 理由:時間がない? 優先順位の上ではない**

→ **同時に支援者が学べるツールに仕上げる**

課題 ② – アセスメントまで目指すと支援者の人数が足りない
→ **民間事業所 は15人以下 3~4人の支援者**

→ **事業所で定期開催する教材であれば、当事者(利用者)でゲームの進行ができる人がいる**

経済的に困難な児童・生徒・大人と その支援者たちとのご縁

児童養護施設の高校生(おもに3年生)
シェルター運営者、NPO法人のグループ

ひとり暮らしの家計管理講座
12か月体験

生活保護世帯の中学3年生の学習支援
ワーカーズコープ
ラスト回に近い時期に2時間

ひとり暮らしの家計管理講座
就職後6年間の体験

母子生活支援施設
行政

1日かけての企画

親子向け講座

- ・1時間目—小学生低学年対象「もちものを大切に」。
- ・2時間目—小学生中高学年対象「こづかいゲーム」
- ・3時間目—中学生と高校生「一人暮らしの家計管理講座」
- ・4時間目—保護者向け「教育資金と家計管理セミナー」

社会福祉協議会の職員への金融基礎教育

就労支援事業所

当事者向け 金銭管理、家計管理のための教材開発を兼ねて継続訪問中 4カ所

特別支援教育でのお金の教育を始めた時期 2006年 おもに保護者会とのつきあい
特別支援学校の教師からの教材注文は多いが、フィードバックがない(使っていない?)

～子どもを自立に導く～マネーセンストレーナ養成講座より

お金を扱う能力が必要な時代

国 ⇒ 「貯金」 → 「金融リテラシーの習得」

稼ぐ

・ 働き方の選択肢増・・・正社員、派遣、契約、パート、アルバイト

使う

・ お金が見えない?!・・・電子マネー、デビットカード クレジットカード、ポイント

貯める

・ 貯蓄から投資へ・・・金融の自由化、リスク商品増 金融商品が複雑化

借りる

・ 簡単に借りられる・・・多重債務、自己破産者増加

自己責任の範囲が拡大



何でも個人の責任にしておもうとしているがそれは厳しくない？

⇒ 特性を持つ人にどこまで理解させるべきか？

自立への教育の講座 (教材あり)

消費者教育
キャリア教育

投資教育
起業家教育

子離れ
親離れ

稼ぐとは？
働くとは？

金融経済教育
(経済教育:中級)

これがうまくいっ
ていないケースが
増えてきた

生活経済教育
(経済教育初級・消費者教育)
(ひとり暮らしの家計管理講座)

社会に出るための準備期間
中・高校生が持っている力を
伸ばし、ルールを守り、自立・
自律した青年へ

道徳教育・金銭管理教育
(もちものを大切に・こづかい体験講座)

幼児

小学生

中学生

高校生

自立

将来の自分のお金の見える化

お金の機能

①交換の手段 → (道具)

②価値の尺度 価格というものさし

③交換価値の貯蔵手段



過去、現在が、数字を使って見える

未来がシミュレーションで予測できる

世の中の実際の価値とお金で表現される金額は ...
≠ 同じではない

お金がお金を増やすしくみは、
経済格差が大きくなるしくみ

いつ、誰が、どう教えるか
& 自分で学んでいくか

稼ぐ

質問

このコトバ、好きですか？ 子どもに教えたいですか？

□ □ を 稼ぐ

□に連想するものは？

お金

生活費

学費

時間

生計を立てるために、一生懸命に働く。働いてお金を得る
都合のよい状態になるまで何かをして時間を経過させる

点数

自分の立場が有利になるように行動をとる。評価を高める

星

試合などで、得点をあげる

昔は、仕事を稼ぐとも使っていた。人には天から与えられた役割があり、それをきちんとこなせば、その日、食べていけるお金はついてきた